

命令

害ノ調査報告ノ件通牒アリタルヲ以テ各大隊ニ調査ヲ命ス

宿縣附近ニハ侵水家屋等損害ヲ蒙リレ個所ナレ

五師聯命甲第ニ其基キ左ノ聯隊命令ヲ下達ス

山本命令第三〇二號

南地区警備隊命令

七月九日十八時
於宿縣山田新隊本部

一北支那方面軍トハ支那派遣軍トノ作戰地境

ヲ阜寧、盱眙、懷遠ヨリ下流ノ淮河、懷遠、潁

州ヲ連ヌル線(線)上ハ中支派遣軍ニ屬スラ定メニル

第一軍ハ北支那方面軍戦中序列ヨリ除カテ中

支派遣軍戦中序列ハ編入セラレタルモ當分ハ中

北支那方面軍司令官ノ指揮下ニ入ラレタル

師団ハ七月七日第一軍戦中序列ヨリ除カレ

支那方面軍戦中序列に編入セラレ其ノ隷下
 ニ入ラレシヲレタルニ當合ノ間依然第ニ軍司令官
 ノ指揮ニ属シ現任務ヲ續行スヘシ
 第ニ第十師團ノ作戰地境ヲ南平鎮蒙城
 ノ線(第五師團ニ含ム)ニ延伸セラル
 三南地ニ警備隊ハ依然主カテ以テ宿縣ニ位
 置シ符離集(含ム)淮河ニ至テ含ム間鐵道沿
 線警備ニ任セラル
 三第ニ第ニ師團ノ宿縣ヲ以テ以テ宿縣ニ位
 置シ符離集(含ム)淮河ニ至テ含ム間鐵道沿
 線警備ニ任スヘシ
 中支派遣軍部隊トノ交代時期及守備區
 域ノ兩端ニ就テ八道特關係部隊表ト協定
 スヘシ

四子八宿縣ニ在リ

南地區警備隊長 山田大佐

下達法

要旨ヲ直接隊長ニ口達後 印刷交付

一 師団司令部ト連絡ノノノ從來迄 兵ニ派遣シテ

リ之ヲ連絡徹底セサルヲ以テ本日以後ヲ下士官

ニ派遣スルコトニ變更ス

一 左ノ日々命令ヲ下達ス

日々命令

日々命令

一 歩兵少佐

守田利一郎

師団トノ連絡ノタメ明日十日徐州師団司令部

ニ出張ヲ命ス

一 免 歩兵軍曹

卯本康人

命 歩兵曹長

神田盛雄

七月九日
於宿縣部隊本部

師団命令

頭書ノ通り分任官ヲ免命ス

一 寺倉部隊ヨリ宿縣附近ニ九一式偵察機ノ使用ニ得ル飛行場ノ有無其ノ状況通報ヲ電報アリタルニ付ナキ旨返電ス

五師団命令甲第三一號

第五師団命令

七月九日中七時
於徐州師団司令部

一 北支那方面軍ト中支那派遣軍トノ作戰地境ヲ阜寧野昭懷遠ヨリ下流ノ淮河懷遠潁州ヲ連ヌル線(線上ハ中支那派遣軍ニ屬スニ定メラル)

第一軍ハ北支那方面軍戰中序列ヨリ除ケル中支那派遣軍戰中序列ニ編入セラレタルモ當分ハ北支那方面軍司令官ノ指揮下ニ入ラレラル

二 師団ハ七月七日第三軍戦中序列ヨリ除カ

レ北支那方面軍戦中序列ニ編入セラレ其

隸下ニ入ラレメラルモ當分、間依然第三軍

司令官ノ指揮ニ處レ現任務ヲ續行セントス

第五第十師団ノ作戰地區ヲ南平鎮蒙

城ノ線(第五師団ニ含ム)ニ延伸セラル

三 南地區警備隊ハ依然主力ヲ以テ宿縣ニ

位置レ符商集(含ム)滄河(膠濟線之間鐵

道沿線ノ警備ニ任スヘシ

七月十日 日々命令ヲ下達ス

晴

日々命令

七月十日 於宿縣

宿縣

歩兵少尉

石井正夫

日々命令

七月十日 師団會報出席ノタメ徐州師団

日々命令

司令部ニ出張ヲ命ス

依テ本十日日出発スヘシ但出發前聯隊本部ヨリ細部ノ指示ヲ受クヘシ

獸醫事務曹長 久保隆之助

輜重兵上等兵 芳屋重次郎

事務連絡及獸醫材料受領ノクメ本十日徐州師団獸醫部ニ出張ヲ命ス

歩兵軍曹 中山珣六

聯隊本部勤務ヲ命ス

日々命令

七月十日
於宿縣

一 聯隊本部歩兵中尉 阿部 繁

第八中隊 歩兵少尉 村上 篤朗

第三機関銃中隊 歩兵少尉 三宅 孝男

外ニ名

右、着園鎮蚌埠附近ニ警備連絡ノ為メ
本月十日該地附近ニ出張ヲ命ス

一 故陸軍歩兵中尉 植 森 隆 義

一 任陸軍歩兵大尉 敍 正 七 位 (四月三十日附)

一 故陸軍歩兵少尉 藤 田 弘

一 任陸軍歩兵中尉 敍 從 七 位 (四月二十六日附)

一 故陸軍歩兵少尉 後 藤 克 乙

一 任陸軍歩兵中尉 敍 從 七 位 (四月三十日附)

一 二十二時宿縣蚌埠間ノ道路偵察實施之ニシテ師
團命令受領セルヲ以テ直ニ第三大隊副官ヲ招
致シ第三大隊ヨリ一ノ中隊ヲ明十一日自動車
ニテ蚌埠方面ニ派遣セルハヘク要旨命令ヲ下
達シ後刻左ノ如ク卸刷交付ス
自動車十八輛八日六時三十分徐州ヲ出発

命令

二十時三十分頃宿縣に着ノ予走ナリ

山作命第三〇三號

南地區警備隊命令

七月十日二十三時
於宿縣山田部隊本部

一南地區隊ハ自動車部隊通過ノ目的ヲ以テ宿
縣輝準間ノ道路偵察ヲ実施セントス

本偵察間兵站自動車一小隊ヲ明十一日午
前中宿縣ニ於テ配属セラル

三第三大隊長ハ速ニ歩兵一中隊 機関銃一

小队大隊砲一門ヲ以テ宿縣輝準間ノ道
路偵察ヲ実施セシムル本偵察間兵站自動
車一小隊ヲ配属ス

南地區警備隊長 山田大佐

下達法

要旨ヲ直接 副官ニ口達後印刷交付

師団命令

五師団命令甲第三一號

第五師団命令

七月十日二十時
於徐州師団司令部

一 南地區警備隊長ハ速ニ自動車部隊通過ノ目的ヲ以テ宿縣蚌埠間ノ道路偵察ヲ実施スヘシ

本偵察間兵站自動車一小隊ヲ明十一日午前中ニ宿縣ニ於テ配屬ス

第五師団長 安藤 中將

下達法 要旨電話後印刷交付

七月十日
晴
宿縣

一 六時三十分徐州出發ノ予定ナリシレ自動車隊通
レ十四時五十分汽車輸送ニ依リ宿縣ニ到着ス
依テ宿縣蚌埠間ノ道路偵察隊ハ六時ニ
ハ諸準備ヲ完了シ蚌埠ニ向ヒ出發スル予定ナ
シ

受領兵器

リ此、七百師団ニ報告ス
正午ヨリ宿縣驛西側、工場跡ニ於テ將夜団
會食ヲ實施ス
尤、兵器ヲ受領ス

受領兵器明細表

一三七一

品目	数量	摘要
スピンドル油	二〇缶	手入用トシテ
革油	四缶	〃
再製木綿	六捆	〃
裁断布	一箱	〃
乾電池		
平角四號用	五〇	補給用トシテ
微光燈用	五〇	〃

七月十二日
晴時多雨
宿縣
報告

一 九日聯隊命令ニ基キ第一大隊八十時三十分列
車ニテ宿縣出立固鎮ニ向テ十一時廿分異状ヲ到着ス
依テ左ノ通り師団ニ電報ヲ以テ報告ス

任橋以南ノ聯隊擔任警備區域内警備備ノ
為ニテ大隊ヲ本十二日九時列車ニ依リ派遣セリ

山田部隊長

三 阿部中尉ハ第三大隊ヨリ小銃一挺一ヲ以テ昨
日出発セル森林自部隊(西寺境ニ其ノ先頭ヲ以テ到
着シアリ)ニ連絡ノ為トラックヲ以テ出発十二時三
十分其ノ目的ヲ達成シ飯塚セルモ十四時更ニ之
ト連絡リテ出発ス

四 森田隊ハ本日其ノ進路ヲ変更シテ宿縣一桃
園集一新縣集一高溝集一固鎮ニ向ヒ本日
八桃園集迄前進セリ

1727

七 國鎮警備地區附近匪情要圖別紙ノ如シ
 六 通信班ハ明日九時ノ列車ニ便乘シ有線一々班ヲ
 國鎮ニ派遣シ驛ヨリ大隊本部ト連絡スル等
 七 國鎮附近ハ物資寡少ナルモ、如シ
 日々命令ハ左ノ命令ヲ下達ス

日々命令

七月十一日
於痛嶽部隊本部

一 七月二日日々命令中第一項ハ自今第三大隊ニ於テ担任スヘシ

會報
 九 本日左ノ會報ヲナス

會報

七月十一日
於痛嶽部隊本部

一 聯隊本部功績班ハ自今萬第一大隊本部ニテ執務スルニ付連絡ハ該所ニセラレ度
 二 本日旅團無線一機ヲ本林田隊ニ配屬ス

七月十三日

晴

宿 縣

日々命令

一 森田隊ハ八時出發圍鎮ニ向テ前進十九時到着

又

二 左ノ日々命令ヲ下達ス

日々命令

七月十三日
於宿縣部隊本部

一

陸軍軍醫中尉

望月 兼夫

聯隊本部附ヲ命ス

(七月十三日附)

三 本日左ノ通り第二軍司令官ヨリ訓示ヲ受ク

依テ之ヲ息ヲ印刷配布ス

軍司令官
訓示

訓示

總彥彙ニ關外ノ軍在ヲ辨レ武勳赫々タル者ニ

軍ヲ統率シテ徐州會戰ニ臨ミ各隊克ク有

形無形ノ戦力ヲ発揚シ衆敵堅陣ヲ虫碎シ

テ偉大ナル戦果ヲ収メテ是レ固ヨリ御後威然

ラシハルトコロナリト雖モ亦以テ將矣ノ奮戰健闘

ニ由ル茲ニ深ク其ノ勞ヲ多トスルト共ニ此ノ間陣
歿ノ英靈ニ對シ衷心敬平ノ意ヲ表ス
惟ニ戰局ノ前途尚遠遠ニテ暴戾ナル敵軍
ニ更ニ一大鐵槌ヲ加フルノ要ナルヲ取テ贅言ヲ要
セサル所之ヲ為今固作戰ノ時機ニ際シ軍ノ戰
斗序列改革ノ大命ニ授レ或ハ死生ヲ儆ニヤル部
隊ト被テ別ニ或ハ依然相携ヘテ新任務ニ就
キ或ハ新ニ麾下ニ精強ナル部隊ヲ迎フル等
陣容ノ変更ヲ見ルニ至レリ
抑々本次事變ハ大日本國民ニ誅セラレタル天
ノ試練ニシテ軍ハ既ニ幾多光輝アル戰績ヲ收
メ得タリト雖敵ノ死命ヲ制レ能ク聖戰ノ目
的ヲ達成シ得ルト否トハ奪テ懸リテ今後作
戰ニ存ス是ヲ得テ以テ出テナ他ニ轉スルモハト

依然軍ニ留ルヲト將ク又新ニ軍ニ入ルモトヲ問
ハス愈々志氣ヲ昂揚シ益々軍紀ヲ振作シ
征戰長期ニ直ルモ有ル難局ヲ打開シテ戰
捷ノ一途ニ邁進シ彼ヲシテ屈服セシメスニハ止マサ
ルノ氣魄ヲ堅持セサルヘクテ又劣弱ナル支那軍
ニシテ尚且長期抗戰ヲ呼籲シ執拗ナル抵抗
ヲ持續ス我ニシテ堅忍不拔ノ意志ヲ缺クルト
ワアラシカナン能ク聖戰ノ目的ヲ負徹シ得
ンヤ今ヤ新陣幕ヲ以テ乾坤一擲ノ次期作
戰ニ向ワントス將兵一同愈々盡忠報國ノ精
神ヲ砥礪シテ一度作戰行動ヲ再興スルヤ前
途ニ横ル天嶮地障ヲ踏破シ炎暑瘴癘ヲ
克服シ勇躍奮進敵ヲシテ餘喘ヲカラシムルノ
諸準備ニ遺憾ナキヲ期スヘシ

昭和十三年七月十日

第一軍司令官 後 考 王

四軍人軍隊ノ對住民行為ニ関スル注意ノ件アリタルニ付印刷配布レ之ヲ徹底ヨ計ル其ノ内容左ノ如シ

一 方軍参ニ密第一六一號

軍人軍隊ノ對住民行為ニ関スル注意ノ件通牒

北支那方面軍参謀長 岡部直三郎

一 軍占據地域内ノ治安ハ徐州會戰ノ結果一時好轉セタルニ看受セラレモ最近ニ至リ山東省方面ニ於ケル交通線ノ破壞復ト盛トナリ又北平京漢線西方地區共産遊撃隊ノ活動ハ北京北方地區ヲ経テ從來ノ平和境冀東

方面ニ迄擴大セラル、等再ヒ逆轉ノ傾ヲ示レ
 ツ、アリ治守回復ノ前途定ニ多難ナルヲ覺ス
 治守回復ノ進捗遅々タル主ル原因ハ後方安
 定ニ在ル兵力ノ不足ニ在ルヲ勿論ナルニ面軍
 人及軍隊ノ住民ニ對スル不法行為ヲ住民ノ
 怨心嗟ヲ買ヒ及抗意識ヲ煽リ共產抗日系分子
 民衆煽動ノ口実トシテ治守工作ニ重大ナル悪
 影響ヲ及ボスコト懸レトセス
 而シテ諸情報ニヨルニ斯ノ如キ強烈ナル反日意
 識ヲ激成セシメテ原因ハ各地ニ於ケル日本軍人
 ノ強姦事件カ全般ニ傳播シ莫ク豫想外
 ノ深刻ナル反日感情ヲ醸成セルニ在リト謂フ
 三由來山東河南河北南部等ニ在ル紅槍會
 大力會及之ニ類スル自衛団体ハ志來軍隊

一 掠奪強姦行為ニ對スル及抗織烈ナルカ
 持ニ強姦ニ對シテハ各地ノ住民一齊ニ立チ死
 ヲ以テ報復セルヲ常トシテリ（昭和十二年十月六
 日方面軍ヨリ配布セル紅槍會ノ習性ニ就テ
 参照）從テ各地ニ類恣スル強姦ハ單ナル刑法
 上ノ罪惡ニ留ラス治字ヲ害シ軍令殺ノ作戦
 行動ヲ阻害シ累テ國ノ威ニ及ホス重大ノ逆
 行為ト謂フヘク部下統率ノ責ニ付ル者ハ國
 軍國家ノ為込テ馬褻ヲ斬リ他人ヲシテ忒
 ベシメ再ヒ難ク行為ノ發生ヲ絶滅スルヲ要ス
 若シ之ヲ不問ニ耐スル指揮官アラハ是不思ノ
 臣ト謂ハサルヘカラス

四 右ノ如ク年々人々爲テ嚴重取締ル共
 然レモ其ノ性ニ對シテハ設備ヲ整ヘ設

備ノ無キヲ多不本意ナクヲ禁ヲ侵ス者ナカラシムル
ヲ緊要トス

五 右ノ外討伐部隊カ戦中上ノ必要ニ基クテ非
スレテ單ニ敵兵ノ存在セシ故ニ依リ或ハ住民地
附近ノ交通ヲ匪賊カ破壊セリトノ理由ニ依
リ住民ノ家屋ヲ焼却スルカ如キハ徒ニ無辜
ノ住民ヲシテ自暴自棄ニ陥リ匪賊ニ投セラル
結果トナルヲ以テ住民地ノ焼却ハ嚴ニ之ヲ禁
止スルヲ要ス近時各遊撃部隊ハ縣政府ヲ
作リ相當組織アル行政ヲ布キアルヲ以テ討
伐部隊ノ行爲住民ヲ庇護スルノ能ハ度ニ
出テサレニ於テハ住民ヲシテ日本軍ヨリマカワテ
遊撃部隊ヲ徳トスルニ至ラシムベシ

六 前述ノ諸項ハ從來屢々注意セラレシ所ナル

糧秣補充

六 米 日光、如ク糧秣補充ヲ受ク

五 加給品ヲ尤ノ如ク分配ス

加給品 米 藪 各人一斗

カ其ノ徹底特ニ実行部隊タル中隊以下ニ對
スル徹底十分ナラザル憾アリ此ノ際特ニ下級部
隊ヘノ徹底ヲ期シ信賞必罰ヲ以テ臨マレ度
ク命ニ依リ通牒ス

品目	数量	品目	数量
精米	九五俵	奥国干野菜煮	一一個
精麥	二九俵	干貝母	四個
味噌	二九俵	干馬茶藨	四個
梅干	九俵	豚肉缶詰	一一個
干白菜	四個	携帶砂糖	五個
干煎鱈	四個	茗花生油	四個
携帶缶詰	六個	酢	一一個
福神漬	七俵	茶	一一個
醬油	二九俵	乾パン	二一個
米	一個	ガソリン	一個
煙草	三五個	煙盤	三個
干油揚	四個	兵賜	四個

冊
簿

石 油	燕 麥	半 邊 野 菜 包 詰	干 野 菜	豆 麵	昆 布 卷
二 缶	一 〇 〇 俵	一 一 個	四 個	四 個	四 個
羊 羹 (三 回 三 食)	酒 (二 打 込)	甘 少 一 (四 打 込)	ビ ト ル (三 打 込)	蜜 柑 缶 詰	軍 馬 袋 食 食
五 個	一 三 個	二 四 個	二 四 個	一 九 個	一 個

1739

七月十四日
晴後雨
箱 縣

一 森田隊ノ報告ニ依ルニ國領ト野間六合自動車道ナリ又繪河ニ鐵橋ノ外橋本ナク架不橋ノルニヤラ

二 友野部隊本日八時警備隊ト警備ノ交代セリ其ノ報告ニ依ルニ住民ハ一般ニ平逸ニシテ北線ニハ土匪ヲ認メサルモ東北部若附近ニ物品掠奪ノ為襲

三 暑氣ト水質不良トニ依リ府縣驛及村商集

ニ傳染病發生セリ以テ警備隊長片山少佐

ハ左ノ命令ヲ下シテカ防疫ノ徹底ヲ期セリ

片警令第一〇號
警備命令
一 傳染病防疫ノ為住民ノ城門出入ヲ左ノ

如ク訂正ス

七月十四日
於警備司令部

1740

一 警備司令部ニ於テ発行セル通関許可證ヲ所持スル者及之ニ隨從スル者カ

二 警備司令部ニ於テ交付セル腕章ヲ附スル者ニ限リ特會員

三 宿縣城内慰勞所並ニ外出ニ関スル規定中第一項外出地域ニ宿縣城内ニ訂正ス

警備司令官 片山少佐

日々命令四左ノ日々命令ヲ下達ス

日々命令

七月十四日 於宿縣部隊本部

一 聯隊本部 歩兵少尉 長 通 豊

七月十六日 師団會報出席、為、徐州師団

司令部へ出張ヲ命ス

依テ明十五日宿縣驛発列車ニテ出張ス

一 聯隊本部 主任任長 村上友吉

外兵四名

事務用消耗品購入ノ為青島ニ出張シ命ス
依テ明十五日宿縣驛一発列車ニテ出発スヘシ

七月十五日

晴

宿縣

一 正午部隊長ハ宿縣驛附近ニ於テ治安維持
會長ヲ集メテ懇談シ以テ支那民衆ト融和
ヲ圖リケリ

二 本日朝来西北方約ニ程ノ地莫ニ於テ盛シニ銃聲
ヲ聞ク依テ警備隊タル片山部隊ヨリ有カナル
乍候ヲ派遣シテ調査セシメタルニ該銃聲ハ歩兵
第三十九聯隊宿縣ニ来ル途上敗残兵約三百
ト遭遇シテ交戦セシモノナルコト判明セリ

三 二十時森田中隊ハ固鎮ヨリ飯塚セリ

四 大店集東方約四里婁庄集附近ノ村落ニ輕

機十ノ有スル約三百ノ兵匪アルヲ知り守田部隊
ハ朝拂曉ノ期ニテ之ヲ包圍殲滅スヘリ大隊長
ノ指揮スル小銃一小隊大隊砲一分隊ハ兵站自
動車四ヲ以テニ一時出立ス

五 茅ニ大隊ヲ報告ニ依テ新橋曹老集間鉄
道ハ一般ニ地盤不良ニテ列車ノ脱線頻發スト

六 右第三大隊ノ報ニ基キ師団ニ左ノ通り報告ス

固鎮一新橋曹老集間ハ地盤不良ニテ鐵道
ハ時速約四行ノ運行ナルヲ事故發生ニ易シ目下
列車脱線ニテリ十五日中ニハ復旧ノ予定

七 作戦用地圖ノ取扱ニ関シテ、通り通報アリ依
テ之ヲ急テ各隊ニ分配シ徹底ヲ期ス

意

支副隊第ニ六號

地圖取扱
關スル通牒

作戰用地圖、取扱關スル件通牒

昭和十三年七月十日 安藤部隊參謀長 櫻田 武

當分ノ間支那事變地ノ作戰用地圖（地誌圖ヲ
含ム）中軍事秘密又ハ軍事秘密ニ屬スルモノ
ノ取扱ノ事變地ニ於ケル軍隊ニ依リ部外扱ニ
準スル如ク變更セラレタルニ付命令通牒ス

進テ本取扱ノ細部ニ關シテ左記ノ如ク規定セラレ

左記

- 一 本取扱ノ變更ハ作戰部隊ノ行動ノ容易ナラ
レハルヲメヒ具ニセハシ得ル暫定的ノ處置ニシテ之ヲ
為地圖ノ取扱祖編ニ流レ防牒上遺憾ナキ様
一級ニ徹底セムルヲ要ス
- 二 防牒上ノ注意ハ必要ナル迄從來往ハアリタル如ク軍
事秘密軍事秘密等ノ標記アル為保

會報

へ

會報左ノ如シ

會報

七月十五日
於宿務部隊本部

昭和十三年七月十五日以後部外ニ對スル西尾部隊

- 第一主義ニ流レ作戰上必要ナル場合ニ使用セ
- 又或ハ戰鬥遂行上切要スル場合ニ之ヲ使用
- シ躊躇スル等ノ事ヲキ豫先合活用セラレ度シ
- 三軍事極秘「軍事秘密」ノ標記ハ其ノ儘存置
- シ抹消セサルモノトス
- 四本取扱ノ地圖ハ持ニ保管架簿ヲ調製衣ノ必
- 要ヲキ配布區分ヲ明ラカナラレルノ處置ヲ講
- シ置クヲ要ス又巧損使用ニ堪ヘサルモノハ各部
- 隊ニ於テ焼却整理スルコトヲ得
- 五使用ニ當リテハ一借用架簿ニ記載整理スル
- ノ必要ヲキモノトス

情報

稱呼ハ花ノ通り改メラル

中支派遣

東

部隊

進テ部隊ニ對シテ依然再集団ノ稱呼ヲ用ヒ
ラルニ付承知セシメ變

七月廿日

一八時第一大隊ハ大森集出発途ニツケリ

蹟

ニ部隊長ハ廣島幼年學校長トシテ少將ニ進級

宿 縣

上轉任ノ以命アリ後任ハ教育總監部庶務課

長總見敏郎大佐ナリ

三本日十六日四時三十分守田部隊ノ要庄集奇襲

ニ於ケル國獲品及友野部隊ノ警備配備左記

山情第五號ノ如シ

依テ此ノ情報及ヒ配置ヲ切及テニ報告ス

山情第五號

情報記録

七月十六日
於宿縣山田郡落本部

- 一 西寺坡警備隊ヨリノ報告ニ依レハ目下鐵道輸送中ニテ西寺坡ニ停車セル某隊ノ兵ニ名西寺坡西方部落ニ徵發ニ赴キ自警団様ノモヨリ射索セラレ即北一重傷一ヲ出セリ依テ某隊ハ警備隊ニ連絡テ今中隊ノ主力ヲ以テ掃蕩セト一殺ニ兵ノ行動ニ注意ヲ要ス
- 二 昨十五日朝来宿縣西北方地區ニ於テ銃砲声ヲ聞ク搜索ノ結果歩兵第ニテ九聯隊宿縣ニ來ル途中敗殘兵約ニロト遭遇交戦セルモノナルト判明セリ
- 三 西寺坡(倉子)以南淮河間ノ警備八十四日八時引繼シ完了ス
- 四 沿線ニハ土匪ヲ認メ及ルモ固鎮東北方部落ニハ

物品掠奪ノ目的ニテ出發スルコトアリ

五 固鎮―新馬橋―曹老集間ハ地盤不良ニシテ
鐵道ハ時速四軒平均ノ運行ナルモ事故發
生シ易シ目下列車脱線ニアリ十五日中復旧ノ
豫定

六 十五日夜第一大隊長ハ小銃一小隊大隊配一
隊ヲ指揮シテ宿縣出發シ大石集警備隊
ヲ併セ指揮シ大石集東方約四里婁庄集及
南側部落ニ位置セル輕機十一ヲ有スル約三
百ノ兵匪ヲ十六日四時半奇襲シ潰走セルハ
討伐隊ニ損害ナシ敵ノ遺棄兵器其ノ他左
記ノ如シ

七 飯還途中乘ニ鋪東南ノ部落ニアル約百五
十ノ匪賊ヲ掃蕩ス敵ハ死体一五小銃三ヲ遺

善不之逃走ス

八南地区警備隊警戒配置別紙要圖ノ如シ

左記

小銃

一八

同彈藥

三〇〇

拳銃

五

電話機

一

手榴彈

五〇

ラッパ

一

馬

八

敵遺棄死体

八〇

捕虜

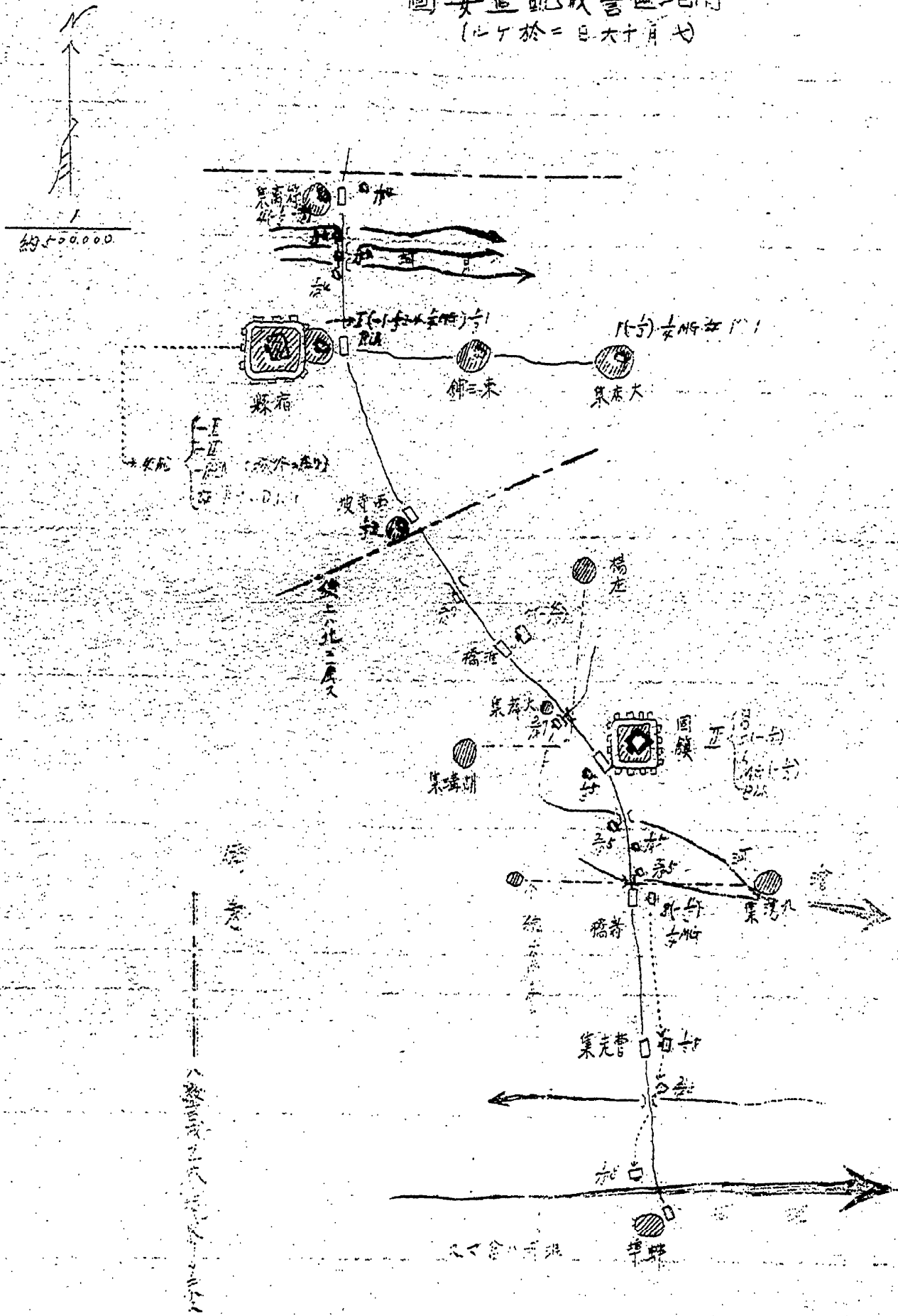
三六

(捕虜ニ就テ八目下調査)

中一部由九師ニ展スルナラズ

1749

圖要置配戒警區地南
(此ヶ於=日六十月七)



四十二時より第五大隊本部に於て聯隊ノ豫藝会ヲ

開催ス

日々命令左ノ日々命令ヲ下達ス

日々命令

一 陸軍歩兵少尉

黒川 久

同

荒田 善之

同

平野 拓造

同

仁本 登次

同

秋山 静登

陸軍主計少尉

大内 正美

陸軍軍醫少尉

横坪 時良

歩兵第四聯隊附被仰付 (七月一日附)

會報

七月十六日 於宿縣部隊本部

一 各隊ノ蒐集セル軍需物資ヲ集積ノ為ニ記

會報

1751

命 令	宿 縣	七月十七日	人員ヲ明八時迄ニ山田部隊本部前ニ差出 レ第二大隊ヨリ出ツル下士官ノ指揮ヲ受ケシム ヘシ
			左記
			第一大隊 兵 六名
			第二大隊 下士官ニ名 同 十名
			聯隊砲中隊 同 ニ名
			連射砲中隊 同 ニ名
一十一時第一第三大隊長ヲ聯隊本部ニ招致シ警 備ニ関スル旅団ヨリノ要旨命令ニ基キ打合せ及 指示ヲナシ且左ノ聯隊命令ヲ下達ス			山作命第三〇四號ノ一
南部警備隊命令			七月十七日十一時 於宿縣山田部隊本部

一北支那方面軍ハ第一軍ノ轉進ニ伴ヒ第二軍ヲ
戰域ヲテ細軍直轄管區トシ速ニ該地威ノ安
定確保ヲ計ルト共ニ次期作戰ヲ準備ス
第五師團ハ十四日正午以後第一軍司令官
ノ指揮下ヲ脱シ第百十四師團獨立混成第
五旅團ト共ニ乙防衛地ニ兵團長(第五師
團長)ノ指揮下ニ在リテ同地域ノ防衛ニ任ス
第十六師團ハ丙防衛地區内諸要地ヲ占據ス
乙地區トノ警戒ハ壽張、鉅野、單縣、高州、
濰州ヲ連スル線トス線上ハ乙地區ニ屬ス
航空兵團ハ從來第一軍ノ作戰ニ協力セリ部
隊ヲ以テ當兵團ニ協力スル等 歩兵第九
旅團長ハ其旅團ニ大隊ヲ欠シ野砲兵第五
聯隊ノ第一大隊及師團輜重ニ中隊ヲ係

也指揮ニ無線ニ分隊第三野戰病院ヲ區署ニ南地區警備隊トナリ別紙要圖地域ノ防衛ニ任ス
 二 聯隊ハ現任務ヲ續行スル外一部隊ヲ以テ蒙城ヲ占領シ同地附近ノ警戒ニ任セントス
 三 第三大隊長ハ部下大隊及聯隊砲連射砲中隊ヲ合セ指揮シ明後十九日出發蒙城ニ向ヒ前進シ同地攻略後其ノ大隊(一中隊)ヲ欠ク聯隊砲一小隊ヲ付ス無線一分隊ヲ其ノ區署ニ入ラシメラル(言)ヲ以テ同地附近ノ警備並ニ宿縣蒙城間後方連絡線ノ確保ニ任スヘシ 第三大隊ノ一中隊連射砲中隊聯隊砲中隊(一小隊)ハ第三大隊蒙城占領後先任隊長ノ區署ヲ以テ宿

縣ニ級還スヘシ

爾今予ノ直轄トス

四 第一大隊長ハ依然現任勢ヲ續行スルト
共ニ成ル可ク多クノ兵力ヲ宿縣ニ集結シ宿
縣警備ニ任スヘシ

宿縣警備ニ関シテハ第一大隊ニ中隊第一
ニ大隊ノ一中隊速射砲中隊聯隊砲中隊
（一中隊欠）ヲ區署スヘシ

五 第一大隊ハ依然現任教ヲ續行スルト共ニ
歩兵一中隊ヲ宿縣ニ差出シ予ノ直轄タラ
シハヘシ

六 聯隊砲速射砲中隊長ハ蒙城攻略間等
三大隊長ノ指揮ヲ受ケ宿縣級着後ハ宿
縣警備ニ関シテ第一大隊長ノ區署ヲ受クヘシ

200

1755

七 大店集不蒙成部隊ハ常ニ少クモ十日分外
ノ糧秣ヲ集積シアルヘシ之ヲ補給ニ関シテハ別ニ示ス
鉄道沿線ノ諸部隊ニ對シテハ概ネ十日分ヲ
集積シ得ル如ク補給セラル、等
ハ予ハ宿縣ニ在リ

南部警備隊長

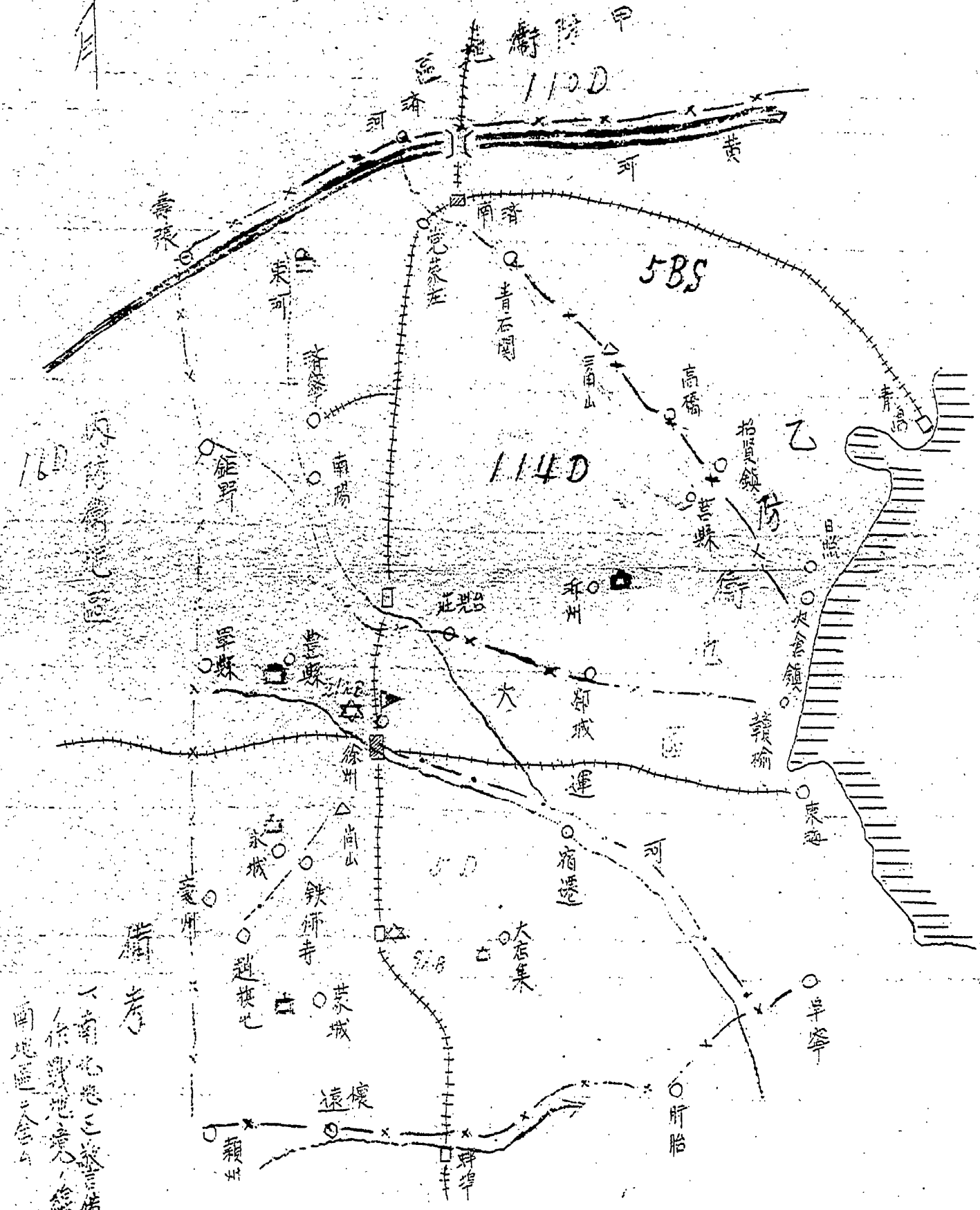
山田大佐

下達法

隊長ヲ集メテ遠隔セルモノハ電話後印
副交付

1756

乙防衛地區圖配置要圖
(七月十四日發令)



一、南、北、東、西、各方向之防禦配置
 二、作戰地區之線、六
 三、國境線之表示

命令

山作命第三〇四詳上

南部警備隊命令

七月十七日十二時
於前線山田部隊本部

一 步兵第十一聯隊長八部下聯隊(第二大隊迄

キ)及輜重一中隊ヲ以テ北部警備隊トナリ警

備擔任地域北側地區ノ防衛ニ任ス

二 予ハ自今南部警備隊長トナリ部下聯隊

及輜重一中隊ヲ以テ警備擔任地域南地區

ノ防衛ニ任セントス

三 兩地區警備擔任地區ノ境界ハ趙旗屯臨溪

集村南集月河、睡河ノ線トス

線トス 南部警備隊ニ屬ス

南部警備隊長 山田大佐

軍需支隊ニ

昨日、日々命令ニ基キ本日朝米第三大隊ヨリ出テ

タル下志官ノ指揮ヲ以テ各中銃砲隊ニ集メタル

蒐集

情報

類ノ驛ニ集積セム

三 徐州宿縣間ノ有線電話通信非常ニ混雑スルヲ以テ本日ヨリ☆ノP.O.トノ連絡ハ八時十二時十八時ニ定メラレ此時刻ニ本部ヨリ連絡ソトル如ク定メ之カ連絡ニ任ス

目下連日ノ豪雨ニテ通信機關及通信網ニ大ナル支障ヲ来シ徐州ヨリ宿縣間宿縣ヨリ固鎮間ノ通信機關故障シ又列車ノ運行全ク不通トナレリ

四 第十師團宿縣附近集結ノメ驛附近ノ路上ハ自動車モ通セヌ程混雑シヤリ

五 十八時ヨリ宿縣治安維持會カ主催ニテ聯隊ノ將校ヲ招致シ宴會ヲ催ス部隊長等之ニ臨ム

六 各隊ヨリ左ノ如ク情報アリタリ

第一大隊方

守情第十六號

情報

七月十六日
守田部隊

一、大店守備隊ハ昨十五日夜一部増加兵力ヲ
得テ本十六日拂曉ヲ期シ其東方豊々庄集
附近ニ於テ敗残兵約三〇〇ヲ襲撃シ左ノ
如キ成果ヲ収メ全負無事返還セリ

鹵獲品

小銃 一八 手榴彈 五〇

同彈藥 三〇 馬 八

拳銃 五 捕虜 三六

電話機 一

敵遺棄死体 八〇

三、竹高集警備隊ノ報告ニ依リ八羊山附近ニ敗

残兵多数集結中ナリト

蓋レ昨(日)十五日(日)ニ襲撃セラレタルモ、カ同地

附近ニ集結中ナランカ

二、茅ニ大隊方面

精報

七月十七日九時
於國領警備隊本部

一、十七日一時三十分小蚌埠(旧驛)東方、淮河

堤防(穴)潰、為、當分、間、列車不通ナリ

淮河ハ増水シ、アリ

之カ為、柳橋附近(曹老集)西方(四行)ニ

侵水シ、同地方民ハ曹老集附近部落ニ

避難シ、アリ

二、去(ハ)十三日、固鎮西南方、冷河左岸地區

三十五ヶ村、村長ヨリ二十数名、集合シ、維

持会ノ發會式ヲ実施セリ

警備隊ヲ三隊分科ニ指揮セル一隊
ヲ以テ参列セリ

三 北除家(任橋西北方大森)ニ相當ノ土匪蟠
居セル模様ナリ目下密偵ヲ派遣シ搜索中ナリ
四 土民ノ言ニ依レハ國領元商務會長ヲ頭
目トシ濠城ニ位置シ附近部落ニ出没シ
物品ヲ掠奪シツアル模様ナリ

警備隊ハ現維持會ヲシテ該頭目ニ對
シテ取順ヲ勸告狀ヲ持テ派遣中

五 鐵道線路東西五軒以内ノ各村長ヲ集
合セシメ鐵道愛護ニ関スル教示ヲナシタリ後
鐵道線路附近ノ雜草ノ刈取リヲ命セリ
次同ノ集合ニハ道路ノ兩側ノ高稈植物
ノ伐採ヲ命スルヲ定ナリ

〇七

1762

日々命令文 左ノ通り日々命令ヲ下達ス

日々命令

七月十七日
於宿縣部隊本部

一 聯隊本部 歩兵上等兵 柏 榮 森 高

同 同 前 田 猛

物品購入ノ為天津ニ出張ヲ命ス

一 第一機関銃中隊 歩兵上等兵 和 木 六 義

師團司令部暗號業務要員トシテ明十八

日正干迄ニ徐州師團司令部ニ至リ服務スヘシ

一 五師作命丁第二ニ號ヲ以テ各隊使用自動

車ヲ制限セラルル依テ之ヲ返納ノ為明十八日九

時迄ニ聯隊本部前ニ差出シ田下 華 曹 指

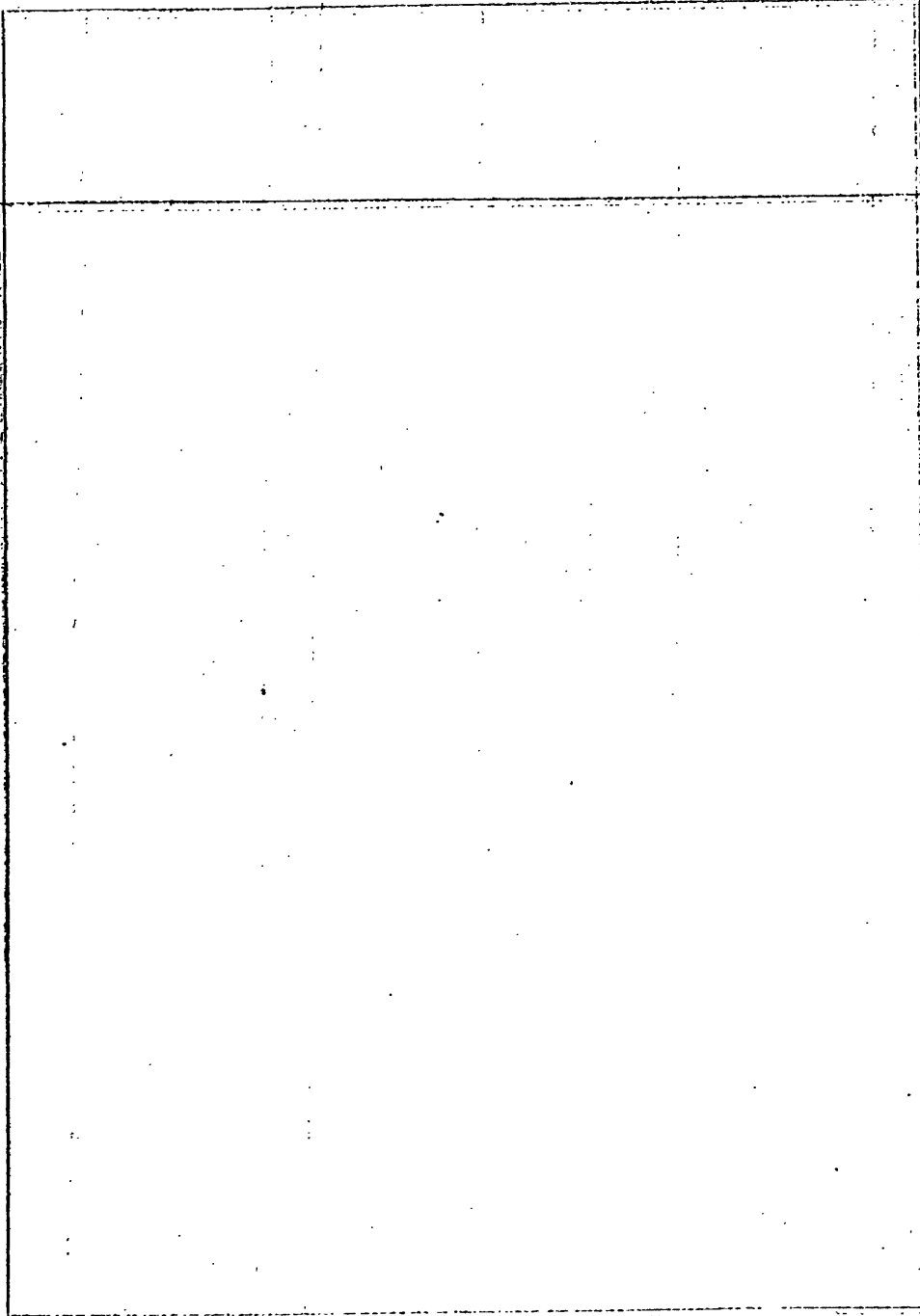
示ヲ受ケシムヘシ

尚自動車ニハ運轉手ヲ附ケ返納終了迄服

務カセシムヘシ

蘇國命令ノ要旨

- 一 如長ハ加長及獨立混成第五旅団ヲ併セ指揮シ乙防衛地區ノ防衛ニ任ス
- 二 如長ハ部下聯隊及輜重一中隊ヲ以テ南部警備隊トナリ別紙要圖ノ地域ノ防衛ニ任スハレ
- 三 特ニ一部ヲシテ大倉集及茨城ヲ確保セムヲ要ス
- 三 北部警備隊トシ境界
- 趙漢屯ヲ留集シ符商集一月河一進可
- 線トス 線六南部警備隊ニ合ム
- 四 輜重兵隊ハ其ノ一中隊ヲ鐵道輸送ニ依リ崩
- 縣ニ於テ南部警備隊長ノ指揮ニ入リシハレ



1765